

市川市立図書館のメールマガジンをお送りいたします。

「メールでのサービス」で配信をご希望された方へお送りしています。

「.....」
市川市立図書館メールマガジン 第 46 号 2014.2.10
「.....」

関東地方は久しぶりの大雪。職員総出で雪かきを行いました。

千葉県では、1月29日にインフルエンザ警報が発令されました。市川市でも患者数が増加傾向にあり、市内の幼稚園や小中学校等では学級閉鎖が多くなってきています。

中央図書館では、こどもとしょかん前に消毒液を設置しております。

感染予防にどうぞご利用ください。

■ ■ 図書館からのお知らせ □

◆ 行徳図書館リサイクルブック市を開催しました！

○ 行徳図書館リサイクルブック市が、2月1日（土）、行徳公民館3階レクリエーションホールで「市川図書館友の会」との共催により開催されました。当日は天候にも恵まれ、435人の方にご来場いただき、用意した12,241冊のうち8,841冊をお持ち帰りいただきました。ご来場ありがとうございました。

○ リサイクルブック市は図書館で使われなくなった本を有効利用するため、毎年開催しています。

■ ■ テーマ展示 □

◆ 中央図書館

○ 「3年間を想うー東日本大震災ー / 今、ふくしま。」(2~3月)

東日本大震災から3年。ニュースなどで被災地について耳にする機会も次第に少なくなりました。しかし、被災地の復興への道のりはまだまだ遠いと言わざるを得ません。

今回の展示では、震災の記録や体験談、復興への歩みについて書かれた資料を集めています。被災地の現状を知り、被災地で今も頑張っている方々に想いを寄せていただければ幸いです。

また、今回は福島県立図書館から「東日本大震災 福島県復興ライブラリー」を借り受け、展示を行っています。絵画ラックでは福島県立図書館

の震災時の写真や、日本図書館協会の「Help-Toshokan」図書館支援隊メンバーが撮影した被災地図書館の写真をご覧ください。

いまだ復興の见えない被災地を、そして福島県を元気にするために、今、わたしたちができること。もう一度この機会に考えてみませんか。

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/info/1149.html>

○展示の本からいくつかをご紹介します。

◇『3.11を心に刻んで』岩波書店編集部／編（岩波書店 2012）

2011年5月11日から始まった岩波書店のウェブ連載「3.11を心に刻んで」を書籍化した本です。さまざまな筆者が、過去の書籍などから言葉をひき、その言葉をめぐるエッセイを書いています。ウェブ連載は岩波書店のホームページで現在も継続中です。

続編に『3.11を心に刻んで 2013』岩波書店編集部／編（岩波書店 2013）もあります。

◇『3/11 キッズフォトジャーナル：岩手、宮城、福島の小中学生 33人が撮影した「希望」』3/11Kids Photo Journal／編（講談社 2012）

東日本大震災で被災した子どもたちが、写真や文章を使って被災地の歩みを世界に伝える活動を行っています。子どもたちの目線で撮影された写真や思いを綴った作文からは、未来へ向かっていく子どもたちの無限の可能性が感じられます。

.....

◇メールマガジンの登録・解除はこちら

<https://opac.city.ichikawa.chiba.jp/winj/opac/top.do>

◇このメールは自動配信されています。このアドレスに返信いただいても内容の確認およびご返答ができません。ご了承ください。

市川市中央図書館

〒272-0015 千葉県市川市鬼高 1-1-4 047-320-3346
